

プログラム名 (40字以内)	ローカルスタディツアーin小田原～自分の生き方と社会のあり方を見つめ直す旅～		
団体名/所属	n(e)ndo		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	5～6人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	<p>○特別な資格や専門知識は一切不要です。少しでも気になった方は、ぜひ参加してください。</p> <p>○～こんな人におすすめ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の生き方や価値観について、立ち止まって考えてみたい人 ・勉強を頑張ってきて、これからどうしようとなっている人 ・何かしらモヤモヤを抱えている人 ・面白い人や、多様な生き方・価値観に出会いたい人 ・社会の仕組みや「当たり前」に違和感を持っている人 ・問いを深める対話を楽しみたい人、哲学的な問いに向き合いたい人 ・社会課題・地域・環境・ウェルビーイング・哲学などに興味がある人 ・自然と人の関係性、農林水産業や地域の暮らしに興味がある人、自然の中で楽しみたい人 		
活動期間	以下の期間内で、2泊3日を予定しています。詳細は追って連絡いたします。 2026/9/20(日)～9/27(日)	主な活動予定場所	神奈川県小田原市 / 神奈川県箱根町 / 神奈川県南足柄市周辺(森林・里山・農地等)
プログラム実施の目的	<p>○本プログラムは、地域の自然環境や暮らしの現場を実際に訪れ、体験と対話を通じて、自分の生き方や社会のあり方を見つめ直すこと、一人ひとりがこの世界で他者と共に、豊かに自分らしく生きるきっかけを提供することを目的としています。</p> <p>○テーマは「自律」と「共生」です。</p> <p>○これまで抱えてきた価値観や当たり前、書きやラベルを一旦脇に置き、「自分はどう生きたいのか」「何が自分にとっての豊かさなのか」「何を大切にしたいのか」という問いにじっくり向き合い、何かに盲目的に従うのではなく、「自律」的に自分の人生を歩むきっかけを創ります。</p> <p>○同時に、自分自身がいかに関わりの中で生きているのか、を体感しながら学ぶことで、環境問題や社会課題を「知識」として理解するだけでなく、地域・環境・社会との関係性を自分ごととして捉え直し、いかに「共生」することができるかを考えていきます。</p> <p>○本プログラムでは、以下のことを大切にしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こちらから提供するだけでなく、自然や地域との関わりの中で生じる各々の身体感覚や違和感、気づきを出発点として、参加者一人ひとりが自分なりに問いを見つけ、探究すること ・異なる価値観を尊重・楽しみながら、 ・自分にとっての豊かさとは何か ・自分はどう生きたいのか ・他者とのような関係性を築きたいのか ・その先どのような社会を目指したいのかといった問いについて、参加者同士で「対話し」、互いに考えを深めていくこと ・現地での移動、温泉入浴、食卓といった活動についても、単なる体感や観察を目的とするのではなく、学習プロセスの一部として位置づけ、日頃から一時的に距離を置いた環境に身を置くことで、学生が身体感覚を通じて自然や地域環境を体験し、その経験を生かして対話へつなげる時間を確保すること ○これらを通して、参加者にとって一度立ち止まり、自分自身と世界に出会い直す時間となり、これからの時代を生きていくための糧となることを目指しています。 		
具体的な内容(800字程度)	<p><具体的な内容></p> <p>○小田原付近の神奈川県西部エリアは、森・里・川・海が一体となった自然環境をもち、自然や生産者との距離も近い。暮らしを構成するあらゆる分野の現場やなりわいを学べる土地があります。小さな「地球の循環」を体感できる地域性を有しています。一方で、人口減少や高齢化、農林水産業をはじめ地域産業の衰退、地球温暖化による生態系への影響、山林・農地の荒廃など、様々な地域課題・環境問題にも体感的に触れることができます。本プログラムでは、参加者の関心や特性に応じて、主に以下の内容を組み合わせて実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二宮尊徳の精神思想など、地域に根づく思想・哲学の学び ・地域影響から地域や社会を捉え直す ・多様な生き方、暮らしを営む人々との出会い ・産業現場での実践的な視察 ・森林・里山・海の現状を学び、自然とのつながりを見つめ直す ・エネルギーや気候変動の課題を自分ごととして考える ・家の案内や有名な食卓のめぐり観察 <p>○自然環境や地域の学びを軸に、知識のインプットにとどまらず、「体感」「対話」「内省」を重ねることで、人と人、人と自然、過去と今、自分と社会をつなげて考え方を育みます。</p> <p>○そして、様々な存在との関係性の中に存在する自分が、他者と共いかに生きているかという問いに丁寧に向き合います。</p> <p><日程></p> <p>○1日目 自分と出会う。地域・自然とつながる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・09:00 集合・小田原へ移動 ・11:00 オフラインセッション①「新・湯治」「自律と共生」の考え方共有、フィールドノート配布 ・11:30 今の自分と向き合う ・13:00 森・里・フィールドワーク「森林・里山環境の散策、自然との距離感・身体感覚への気づき、森からあり方を学ぶ ・16:30 振り返り(夜間) ・17:00 夕食(地元食料)、地元の人と出会う ・19:30 温泉入浴(新・湯治体験①) ・21:00 温泉入浴(新・湯治体験②) <p>○2日目 他者・地域とつながる(自己の拡張・共生の実感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・09:00 川・海フィールドワーク・水循環(森-川-海)の体感、自然と人間活動の関係理解 ・11:30 個人振り返り ・13:30 地域関係性との交流・実践体験・地域で活動する人の話を聞く、「自律」と「共生」の実践事例を知る ・16:30 グループ振り返り・自身の価値観・生活との接続 ・18:00 夕食 ・19:30 対話セッション②「豊かさとは何か」個人の幸福と社会・地球の持続可能性 ・21:00 温泉入浴(新・湯治体験③) <p>○3日目 統合・言語化(共生を実感した上で、自己に向き合う。社会へ持ち帰る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・08:00 総合振り返りワークショップ「自分の体験を「自律」「共生」の視点で整理、心身・認識・行動意識の変化を可視化 ・11:00 ミニ共有セッション「各自の気づき・問い」今後のアクション ・13:30 クロージング・今後の研究・実践・生活への接続 ・18:00 解散 		
【総額】参加するための費用	45,000円＋小田原までの往復交通費		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	約5,000円(税込)／1名 2泊3日想定		
【内訳】参加するための費用(交通費)	約7,500円(税込)／1名(レンタカー代、ガソリン代、駐車場代等の現地移動費を含む) ※自宅から集合場所(小田原駅)までの往復交通費は各自負担		
【内訳】参加するための費用(その他)	約32,500円(税込)／1名(温泉利用料、食事代(一部込み)、施設利用料、保険料、資料作成費、運営費等)		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・天候や現地状況により、一部プログラム内容が変更となる場合がある ・動きやすい服装・歩きやすい靴での参加を推奨 ・プログラム期間中の現地での移動は、連携先である非営利法人BUNDのスタッフが運転を担当します。 		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	n(e)ndo:https://www.instagram.com/millenniumendo/ 協催 非営利株式会社BUND:https://bund-inc.studio.site/		
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		